

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	2737
部名	経済部	課名	農政課	課長名	阿部 健
事務事業名	地場農産物ブランド化促進事業				
予算上の事務事業名	地場農産物ブランド化促進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31510		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				事業開始年度
施策名	第1施策 安定した農業経営の確立				平成11年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
<ul style="list-style-type: none"> ・さがみはら農産物ブランド協議会設置要綱 ・さがみはら農産物ブランド品登録要領 					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
地場農産物の生産を振興するため、ブランド化を進め、消費者への定着を図るとともに相模原市内産の表示を明確にし、消費者・生産者双方の利益を図る。			生産者・消費者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
さがみはら農産物ブランド協議会の開催(年1回)、同協議会流通対策部会の開催(年1回) ・さがみはら農産物ブランド品の認定(ブランド協議会において、花卉2品目認定) 啓発物品作成(シール) 販売促進PRイベントの開催(年3回) 【会場】伊勢丹、小田急ホテルセンチュリー相模大野、イトーヨーカドー市内3店舗					
6 関連・類似事業や他市の状況					
横浜市の「はま菜ちゃん」、神奈川県「かながわブランド」					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	480	500	500	736	736
一般財源	480	500	500	736	736
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	839	801	807	807	807
事業コスト合計(a)	1,319	1,301	1,307	1,543	1,543
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	地場農産物ブランド化促進事業			対象名称(単位)	登録認定品目
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,319	1,301	1,307	1,543	1,543
対象数	0	53	55	55	55
単位あたり経費(円)		24,547	23,764	28,055	28,055
前年度比			0.97	1.18	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	地場農産物ブランド化促進事業における登録認定品目	指標式と指標の説明	実績数/目標数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	53.0	55.0		
目標	0.0	53.0	55.0	55.0	55.0
目標達成度		1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	地場農産物ブランド化促進事業における登録認定品目	指標式と指標の説明	実績数/目標数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	53.0	55.0		
目標	0.0	53.0	55.0	55.0	55.0
目標達成度		100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業		
	[]	：概ね良好な状況である事業		
	[]	：見直しを行う必要がある事業		
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業		
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
農産物生産・消費に関する団体で構成するさがみはら農産物ブランド協議会の事業を促進することにより、地場農産物の生産の振興、付加価値の向上、消費者への定着、農業経営の安定等、消費者・生産者双方の利益をより高められる。（平成17年度から実施）			量販店での通年出荷（安定供給）が出来る仕組みの確立。 ブランド化事業は、市内産農産物の市民へのPRを目的として立ち上げてきたので、門戸が広い（品質や規格等に差がある）。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			